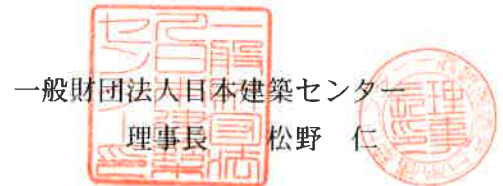




BCJ 評定-LS0075-01

評 定 書

未来ネットワーク株式会社
代表取締役社長 竹内 正治



平成24年8月2日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団鉄鋼系住宅構造評定委員会（委員長：曾田五月也）において慎重審議の結果、平成25年4月26日付け評定報告書（評定番号：BCJ 評定-LS0075-01）のとおり、本件は申込みの範囲において妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成30年4月25日までとします。

平成25年4月26日

記

1. 件 名

システムユニット工法

2. 評定事項

鉄骨造（ユニットブレース構造）の2階建て以下の建築物の構造安全性に関する評定である。なお、基礎、外廊下及び外階段については評定対象外としている。



評 定 報 告 書

鉄鋼系住宅構造評定委員会
委員長 工学博士 曾田 五月也



件 名：システムユニット工法

本件は、鉄骨造（ユニットブレース構造）の2階建て以下の建築物の構造安全性について評定の申込みがなされたものです。本委員会は、下記について提出された資料に基づき技術的検討を行った結果、本件は、申込みの範囲において、妥当なものであると判断します。

平成25年4月26日

記

§ 1. 評定事項等

1. 評定申込者 会社名 未来ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹内 正治

2. 評定事項

本件は、鉄骨造（ユニットブレース構造）の2階建て以下の建築物の構造安全性に関する評定である。なお、基礎、外廊下及び外階段については評定対象外としている。

§ 2. 評定内容

1. 構造概要

本件は、鉄骨造のユニットを水平方向及び鉛直方向に連結することにより構成される2階建て以下の建築物である。

ユニットの柱は一般構造用角形鋼管、梁は一般構造用軽量形鋼を用いており、柱梁仕口部の接合は隅肉溶接によるものとしている。ユニットの柱頭部にはプレートが設けられており、当該プレートを介して隣り合うユニットの梁フランジ相互をボルト接合することにより水平方向に連結される。2階建ての場合の上下のユニット相互は、1階ユニットの柱頭トッププレートと2階ユニットの柱脚ベースプレートをボルト接合することとしている。

地震及び風による水平力は、妻方向及び桁方向ともに4.5mmの一般構造用圧延鋼材によるブレースで抵抗することとしている。鉛直ブレース端部はガセットプレートを介してユニットの柱及び梁に接合することとしている。桁方向のブレースのモジュール(P)は900mm、910mm又は1000mmのいずれかとし、一の建築物において1つ選択することとしている。

1階の天井桁梁と2階の床桁梁は、1.5P以下の間隔で高力ボルト接合することで一体化を図っている。水平構面の剛性は、各階のユニットの屋根面に配置された水平ブレースにより確保することとしている。

基礎は鉄筋コンクリート造の布基礎又はベタ基礎としており、一階の床梁端部位置においてアンカーボルトにより緊結することとしている。ユニットは内外装含めて工場において製作され、現場において基礎に接合することとしている。

ユニットの平面配置パターンは予め限定されており、配置パターンに応じて鉛直ブレースの位置が設計仕様に定められている。一つの建築物において、ユニットの外形寸法及び桁方向のブレースのモジュールは同一のものを用いることとしており、2階建ての場合は、上下階同じ位置にブレースを設けることとしている。

使用材料一覧を表1に、構法概要を図1に、伏図例を図2に、ユニット配置パターン図を図3及び図4に、軸組図例を図5に、接合部詳細図を図6から図10までに示す。

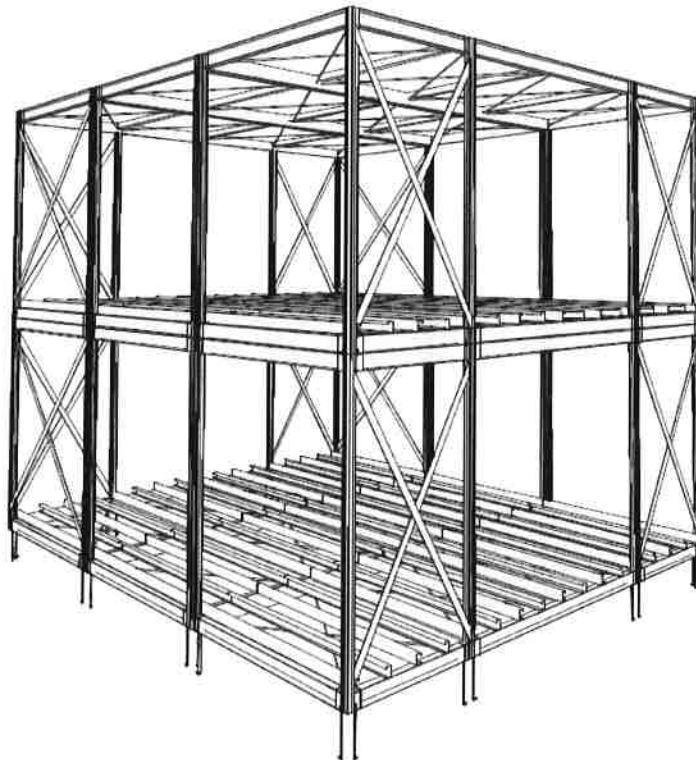


図1 構法概要